

第1回震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎） 概要

日時：平成28年7月12日（火） 午後6時30分～午後8時30分

会場：河北総合支所2階 会議室

概要：

- (1) 「震災伝承検討会議」の役割・スケジュールについて
 - ・震災伝承及び震災遺構に関するこれまでの動きと各会議の関係、「震災遺構」に関する石巻市の方針、「震災遺構検討会議」の役割・スケジュール等を確認した。
- (2) 「震災遺構（大川小学校旧校舎）整備計画」の枠組み（案）について
 - ・たたき台としての「震災遺構（大川小学校旧校舎）整備計画」の枠組み（案）を確認した。
- (3) 大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等について
 - ・大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等に関して各種の情報を共有した。
- (4) 震災遺構（大川小学校旧校舎）整備等に関する意向・意見について
 - ・校舎の保存を前提とした周辺環境の「整備」、校舎や周辺環境の「利活用」、校舎や周辺環境の「運営・維持管理」について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・静かに供養をしたい人のために、いつでも静かに子どもたちに語りかけられる場所に移転するなど慰霊碑の位置づけや設置場所を考える。
- ・本道から慰霊碑まで来る幹線には作業関係者以外の乗り入れを禁止する。
- ・トイレは、水道管理のしやすい場所に移設する。
- ・誰でも分かる駐車場を整備し、車やバスで大川小学校旧校舎に来た人が、安全に県道を渡れるようにする。
- ・敷地内禁煙、進入禁止エリア、避難経路、避難場所の立て看板を設置し、立ち入り禁止・危険個所のバリケードを作る。
- ・学校敷地内に管理棟を設置し、ガイドをできる管理常駐者を配備する。
- ・遺族による清掃、ボランティアによる草取り、ゴミ拾いは今後も続けていき、他県の高校生や大学生を、清掃ボランティアとして受け入れる。
- ・慰霊のために送られてきたものが校舎内で雨ざらしにならないように、風雨の対策をする。
- ・他の人が来ているときに、この場所に行ける遺族は少ない、心理的に行けなくなっている人がいることを配慮する。
- ・地域で将来的にどういった伝承活動をしていくのかを検討する。今後、あの校舎をどのように残していくのか、どのような伝承をしていくのかということも、子ども達の意見を聞き、一緒に検討し、活動していく。
- ・本検討会議が終了した後も、遺構として残すべき目的・手段等について、行政と担い手の間で対話が保たれるような仕組みにしていく。